

目次

・ 視察報告書

場所：栃木県宇都宮市

テーマ：「宇都宮市の自転車施策について」の視察研修

- ① 内容
- ② 所感

・ 研修報告書

「第 17 回全国市議会議長会研究フォーラム in 長野」

場所：長野市ホクトホール

テーマ：～デジタルが開く地方議会の未来～

- ① 内容
- ② 所感

視察報告書

令和4年11月1日

北上市議会議長 様

北上市議会（無党派） 熊谷浩紀

私が参加した次の視察について結果を報告します。

日程 令和4年10月18日（火）

場所 栃木県宇都宮市旭1丁目1番5号

宇都宮市役所

視察事項 「宇都宮市の自転車施策について」

【 内容 】

自転車を活用した街づくりのフロントランナー都市として進めてきた取り組みの継続・拡充を図りながら、自転車に対する市民ニーズへの対応や国・県の動向、周辺市町との広域連携など自転車を取り巻く環境変化に対応した施策の見直しを進め、ネットワーク型コンパクトシティ(NCC)における市民や来街者の移動手段として、通勤・通学、買い物などの日常生活に加え、サイクリング・健康づくりなどの余暇活動を楽しむツールとしての自転車利用など多様な場面で自転車が活用され、誰もが健康で便利に楽しめる「自転車のまち宇都宮」を実現するために、平成23年から令和2年度の10年間で「自転車のまち推進計画」を進めてきた。現在は「第2次宇都宮市自転車のまち推進計画」として、自転車走行空間整備51.3km（目標57.7km・整備率88.9%）を掲げ、スポーツサイクルチーム「宇都宮ブリッツェン」を中心にジャパンカップ（2日間で約13万人が観戦）の開催や、レンタサイクル、自転車の駅など様々な取り組みを行っている。

【 所感 】

- ・ ネットワーク型コンパクトシティの形成（NCC の形成）として、安全・快適な自転車の利用環境が整備され、NCC における市民や来街者の移動手段として多様な場面で自転車を活用している。自転車と公共交通との連携により徒歩・自転車・公共交通での生活が可能となり、過度な車依存からの転換を促進させる目的があり。利便性・経済性が高い自転車の活用により、環境負荷の軽減や市民健康増進を促進するとともに、自転車を楽しむ機会の提供を目的ともしている。そして、サイクルツーリズムやサイクルスポーツ（ジャパンカップ・アーバンスポーツ等）の普及など自転車を活用した都市の魅力向上も目指しているようだ。宇都宮ブリッツェンというプロのサイクルチームが主導的に動くことによって、宇都宮市の地形を生かしたサイクリングコースや様々なイベントづくり、市民の体力向上への寄与も含め、宇都宮市が一丸となって取り組んでいる様子を視察によって感じられた。レンタサイクル所が市内に約 60 か所あり、電動アシスト付き自転車やタイヤの形状が太い雷電自転車の貸し出しも行っており、素晴らしい景色を眺めながらのサイクリング良いのでは。（近くには映画やドラマのロケ現場として有名な大谷石の採掘場や日光もある）北上市と違う点として、冬場の降雪量の違いによりオールシーズン自転車が活用できるか否かがある。それから道路整備の問

題があり、自転車専用道路帯が中心街の中でも数多く見られた。サイクリングロードやコースの整備としても宇都宮市の規模の大きさには舌を巻きました。しっかりとした行政主導の計画の大事さと実行するための市民の理解と熟成、満足度をいかに増やすかは市長の積極性にも関係しているようです。

研修報告書

令和4年11月2日

北上市議会議員 様

北上市議会（無会派） 熊谷浩紀

私が参加した次の研修について結果を報告します。

日程 令和4年10月19日（水）～20日（木）

場所 長野県長野市若里1丁目1-3

ホクト文化ホール

研修事項 第17回全国市議会議員会研究フォーラム in 長野

【内容】

第17回全国市議会議員会研究フォーラム in 長野が3年ぶりに長野市で開催されました。本フォーラムは、全国の市区議会議員が一堂に会し、共通する課題や今後の議会の在り方について意見交換を行うとともに、議員同士の一層の連携を深めることを目的としている。

今回は、「デジタルが開く地方議会の未来」をテーマとして、地方議会のデジタル化の現状・課題と将来の可能性や、現場の具体的な取り組みについての討議となっている。国においては、デジタル技術を活用して地方を活性化し、持続可能な経済社会を目指す「デジタル田園都市国家構想」が進められており、また経済社会のデジタル化の急速な進展と新型コロナウイルス感染症の拡大などを背景に、地方自治体そして地方議会のデジタル化も急務となっている。地方議会に

においては、議会活動そのものをオンラインでも実施できるような環境整備を行うとともに、デジタル技術を活用して議会と住民との新たなコミュニケーションの可能性を広げることが期待されています。活発な議論が交わされ、実りある成果が得られるとともに、今後の活動の一助にとの認識をしています。

【プログラム】

《1日目》

第一部 基調講演 「コロナ後の地域経済」

富山和彦氏 株式会社経営共創基盤（IGPI）グループ会長

株式会社日本共創プラットフォーム（JPIX）代表取締役社長

第二部 パネルディスカッション「地方議会のデジタル化の現状・課題と将来の可能性」

人羅 格 毎日新聞社論説委員

岩崎尚子 早稲田大学電子政府・自治体研究所教授

榎原 出 東京大学先端科学研究センター教授

湯浅壘道 明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科教授

寺沢さゆり 長野市議会議長

《2日目》

第三部 課題討議 「地方議会のデジタル化の取り組み報告」

谷口尚子 慶應義塾大学大学院システムデザインマネジメント研究科教授

金澤克仁 取手市議会議長

板津博之 可児市議会議長

林 晴信 西脇市議会議長

一日目 基調講演要旨 富山和彦氏

近代の経済危機は1920年代の大恐慌以来、バブルの崩壊やリーマンショックなど、ことあるごとに起きており、今までの30年間に進んだ破壊的イノベーションの波動は新型コロナウイルス感染症により加速しながら、デジタル革命によりさらに拡大の様相を呈している。グローバル競争の中で日本経済や企業の地位は低下しており、復興の本丸は、GDPの7割、雇用の8割を占めるローカル経済圏や中堅中小企業経済圏にあり、其のDX化が決め手である。事例としては、IGPIグループ（講演者の会社）は、全国各地で交通や観光産業を展開しているが、DXなどの新たな取り組みによる生産性向上で、人手不足や高い賃金水準時代を逆転の発想を持ちながら成長を遂げている。具体的な取り組みとして、自動運転バスの都市内・都市間の移動や、AIの活用によるODS（オンデマンドサービス）、旅行などの動線全体をカバーする顔認証おもてなしサービス、空港滑走路点検等様々な取り組みがある。もっとも重要な点としては、地域活性化のカギになるのは人と情報の流動性にあり、地方として長所や利点をデジタルに生かすことにより、アフターコロナ、コロナ後にこそ、地域経済は活性化するチャンスになるのではないだろうか。

パネルディスカッション「地方議会のデジタル化の現状・課題と所来の可能性」

要旨

人羅 格氏

全国市議会の調査によるデジタル化の取り組み状況は、委員会のオンライン開催が17, 4%、タブレット端末の導入が51, 9%、会議録検索システムの導入が86, 1%、会議録音声認識システム導入が23, 9%などとなる。デジタル化と市民とのつながり方、コロナ禍終息後の取り組み、人材育成など課題は多岐に亘る。

岩崎尚子氏

議会のデジタル化についての課題は、①災害時にも議会機能を発揮し、住民とのコミュニケーションの確保。②誰も取り残しなしのデジタル社会に向けての議会のリーダーシップ。③議会が地域内コミュニティを取りまとめるためにも必要なのはDXやデジタル改革によるものである。そのためには、非接触型社会への対応、新デジタル人材の育成、指導的地位を占める女性の割合を増やすためのポジティブアクションや少子化、高齢化、人口減少化の解決に向けた、介護や育児等への多様で柔軟な選択肢の提示などが必要である。

牧原 出氏

人口減少と新型コロナウイルス感染症への対応という二つの大きな課題のカギがデジタル化であり、地方議会のデジタル化はその一環として捉えるべきである。イギリスでは、議会のオンライン開催は認められていないが、非公式的にオンライン形式の打ち合わせで活

用されている。それから、オンライン議会開催の要件として、通信環境の安定性、セキュリティの確保、市民への開放、議長の議事進行能力、先行議会の経験の共有などである。そして、デジタル化には不断の技術革新や改革とともに、市民の容易なアクセスが不可欠である。

湯浅壘道氏

議会のデジタル化の意義は、平時、災害時、コロナ禍に関わらず議会機能を十分に発揮し、住民とのコミュニケーションを確保できることにある。住民と議会は、一方通行のコミュニケーションが多いが、オンライン化で双方向となり、協働性や議会への理解度も高まる。そして、セキュリティ上の懸念を過度に協調することは、オンライン化の実現をはばみ、利便性、効率性、公開性、透明性を減少させる恐れも生じさせる。今後の議会としてのデジタル化には、電子投票による議決・選挙、デジタル文書による監査請求、意見書提出、調査、議員派遣、傍聴など様々な可能性がある。

寺沢さゆり氏 長野市議会の現状として

平成 28 年 本会議場に採決システムを導入。結果がモニターに表示される。

平成 30 年 常任委員会のインターネット中継を開始（録画）。本会議は生中継。

平成 31 年 議会活動にタブレット端末を導入。議員 1 人 1 台貸与。紙、CO2 削減費用効果額 300 万円/年。

令和 4 年 市民と議会の意見交換を会場とオンラインによるハイブリッド形式で開催。

委員会のオンライン開催を導入。

二日目 課題討議「地方議会のデジタル化の取り組み報告」要旨

金澤克仁氏

取手市議会議長

人口 10 万 6 千人、議員定数 24 人（女性 7 人）、早稲田大学議会改革度ランキング 2 年連続全国第一位。ICT の活用としては事務局が提案。ICT 活用の会議は 50 回以上開催。議案のオンラインによる事前説明、ICT で現場確認（現地映像を確認）、オンライン広報・広聴、災害対応、オンライン視察、ペーパーレスによる効率化などの取り組みを行っている。

* 早稲田大学、地域経営推進センター、東京インタープレイ株式会社、取手市議会との四者協定連携で様々な改革を推し進めている。

* オンライン本会議の実現に必要な地方自治法の改正を求めて、取手市議会として複数回、国に意見書を提出している。

板津博之氏

可児市議会議長

人口 10 万 4 百人、議員定数 22 人（女性議員 3 人）、外国籍市民が約 8 千人。令和 3 年度の調査で、議会に関心ない人が 44、6%もいることにより、議会改革にも力が入る。そして議会報告会は、年 2 回議会日より、ケーブルテレビ、回覧板などにより周知し、各地区センター単位で開催している。コロナ禍でも参加者の座席間確保、オンライン会議システム活用、

委員会ごとに報告会を開催などの工夫しながら、令和4年度は完全オンラインで開催した。

- * 平成30年に議会グループウェアを導入し、委員会資料を委員以外にも配信し、情報共有やグループでの意見交換や様式のダウンロードなども可能となっている。

林 晴信氏

西脇市議会議長

人口3万8千人、議員定数16人（女性議員0人）、平成20年に議員定数の削減に関しての直接請求があり、議会として否決にはしたが、議会不信の印として受け止めてそこから議会改革特別委員会を設置し、議会改革に取り組むことで市民への理解を加速させた。住民との関係性を重視し、予算広聴会や議会と語ろう会、課題懇談会などで住民の意見を把握し、常任委員会の所管事務調査などを経て政策提言し、予算に反映させるための政策サイクルを回している。

- * 新型コロナウイルス感染症の拡大により、議会が機能不全に陥りかけたがしっかりと議会のICTに取り組み、オンラインによる議会と語ろう会を行っている。視察も今年度から遠方の視察も可能とし、今では予算広聴会も通常通りに取り組んでいる。議会のデジタル化は、議会の効率化、多様化した民意の集約を可能にできることで、情報の共有・住民参画・議会の機能強化により、住民福祉の増進を図るものである。

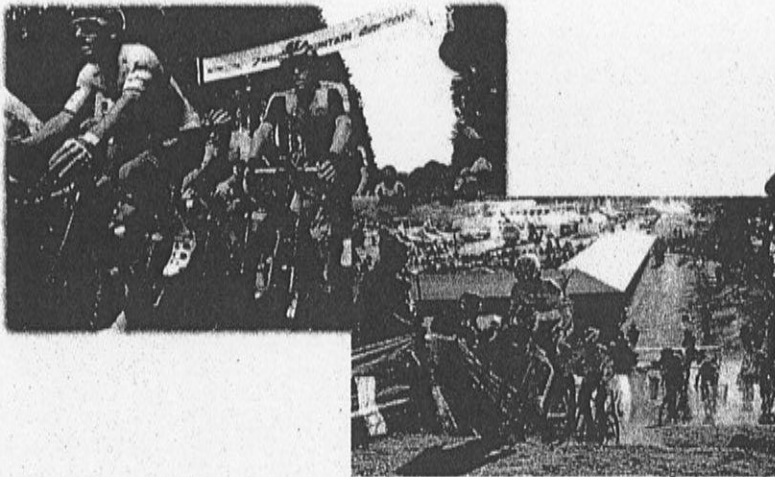
【所感】

全国市議会議長会研究フォーラムは初参加でした。第一部の富山和彦氏の基調講演では、議会におけるデジタル化はもちろん議会改革にも通じるが、単なる議会の改善を要求されているわけではなく、現在のコロナ禍やウクライナへのロシアへの侵攻、物価高の高騰など今抱えている社会全体の大きな変化の中にある要素で最低限の事として、受け入れるための必然的な流れのひとつとして話の中から実感できた。様々なICTを活用の取り組み、DXによる行政改革や今まで考えられなかった出来事が当たり前のように前に進む時代になっているそして、そこに遅れをとってはいけないことを講演により考えさせられました。第二部のパネルディスカッション「地方議会のデジタル化の現状・課題と将来の可能性」では、先進的事例から、議会のデジタル化が誰も取り残されないデジタル社会に向けての果たすべきリーダーシップになる話や、議会のデジタル化の目的はあらゆる災害時でも議会機能を十分に発揮し、住民とのコミュニケーションを確保するための未来のキーワードになっていくという話そして議会デジタル化が住民参画のまちづくりの中にしっかりと位置付けられて、自治の発展や民主主義社会の進化のためツールとしても推進されているという話には頷いてしまった。北上市議会としては、第三部の課題討議としての話を聞きましたが北上市はタブレットもオンライン会議も登壇された議会よりも前からやっていることに何か嬉しく、先進事例うちの議会の方が進んでいるように思えてしまい、先輩議員の偉大さを感じました。まだまだ議会改革上に行けると思いますので精進します。以上。

視察研修日程

期 日	日 程	備 考
1日目 10/18 (火)	<p>7:45 7:51 北上駅</p> <p>やまびこ52号</p> <p>10:34 10:22 宇都宮駅</p> <p>徒歩</p> <p>宇都宮駅西口</p> <p>11:30 12:30 県庁前</p> <p>徒歩</p> <p>昼食</p> <p>13:00 15:00 宇都宮市役所視察</p> <p>028-632-2612 028-632-2611ヤスイ様 17:41</p> <p>15:25 15:35 宇都宮駅</p> <p>15:59 16:17 大宮駅</p> <p>17:41 長野駅</p> <p>ホテル</p> <p>夕食</p>	<p>【昼食】 ・宇都宮市内 (未定)</p> <p>【夕食】 ・長野市内 (未定)</p> <p>【宿泊】 ・相鉄フレッサイン 長野駅東口</p>
2日目 10/19 (水)	<p>8:30 11:30 ホテル</p> <p>散策</p> <p>11:30 16:50 ホクト文化ホール(フォーラム)</p> <p>17:30 夕食</p> <p>ホテル</p>	<p>【朝食】 ・相鉄フレッサイン 長野駅東口</p> <p>【昼食】 ・長野市内 (未定)</p> <p>【夕食】 ・長野市内 (未定)</p> <p>【宿泊】 ・長野リンデンプラザホテル</p>
3日目 10/20 (木)	<p>8:15 ホテル</p> <p>8:30 11:00 ホクト文化ホール(フォーラム)</p> <p>11:30 12:30 昼食</p> <p>12:45 13:24 長野駅</p> <p>北陸新幹線</p> <p>14:47 15:01 大宮駅</p> <p>17:31 北上駅</p>	<p>【朝食】 ・長野リンデンプラザホテル</p> <p>【昼食】 ・長野市内</p>

自転車を活用した 経済・地域の活性化に向けた取組について



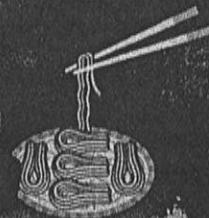
宇都宮市役所 経済部 都市魅力創造課

★ 資料の構成

1. 本市におけるこれまでの取組について
2. 地域が主体的に取り組んでいることについて
3. 「経済・地域の活性化に向けたスポーツ都市戦略」
について

第17回

全国市議会議長会 研究フォーラム



in 長野

令和4年
日時 10月19日(水) 13:00~
(受付11:30~)

《大会テーマ》

デジタルが開く
地方議会の未来

貸池(戸西)

20日(木) 9:00~
(受付8:30~)

場所

ホクト文化ホール
(長野市若里1丁目1-3)



©善光寺

[主催] 全国市議会議長会 [後援] 総務省 [協賛] 全国市議会議員互助会 (有) 都市企画センター
[実施] 第17回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会